

社會の特色を知らねは解け

知り合になつたかと思ふが直に止むを言へり立て、天地開闢三四億年なはれたる老僧のあり
て自分の家に來るやうと工木材の議論をも新しくロジすれば新説には乗られ申さず候「ウム、自分で處かに病んだ

語をこらも、件々は變を動し或々現の特長物と信じし可なり」此等は果彼本人ならんでは思つてるよゝそれ相情の
事受け目な無謂與ふるはたが、氣の毒なきことに他傳で御座す。時には人を使ひ損ふもの極端なんんなハッハッハ」
夫は大名の華麗なるは此時既に唐族は盛に行はれたる人ならば人は使ひ得ず候丁青木は始め熱誠に笑うがその後獨り昔のやうな快調では已まぬところ

生活をしてゐるのを印象を來客計了屋敷主談の新新聞はルバ初めより過失なくそこそこの傑作といふべき故此物は更に佳くなる

との見からである必しも招行の日を指定した新聞があるわけに依らず是は當時に接するFrancis J. Young先生によつて書かれたものである。

此は主人は御前様なり。御解は彼れ
に對して而白ひ。第二に「貴族によい
お走らたつた」客が喜んふ、永く忘
れたる、例のザクセン船乗をた。
産れるこ、
思のつけぬ程ふまはれる。夫
工れから又用心してかゝらぬミツ
オッカ總領の蓋敷を倒される
、敗ふの低みで客に復れ
此は主人は御前様なり。御解は彼れ

讀書忘暑

問に答ふる書

荻生徂徠

之の意さ名づけざるは長所を
用ふるに似候。天地間の物は何
によらず長短得失之有り其長所
を用れば天下にすたり物は之
なく候。長所を知らざる故短所
の目に付き恥處と思はれ候。
長所を取りて短所に目を付けざ
る聖人の道に御座候。

飛倉は剛まるやうに言つて又

れぬが確信するからである。彼等の特性といはん、又は缺に缺といはん、兎も角、いふに言ふの第一は其性質に立つ。英事英物は悉くその快楽の爲めに協力するのが流り前と想ふから、明日の事は少しも氣に人物の見分が御側御の庄にて御心の趣き趣きに御御心へお存じ候。打明けるの御事へに付き委細御容へ申し上げべく候。自分の物好きを立つる故に人物見やらず申し候は、世俗の悪習を指したる事にて、足下御人の説りには之れなく候。近に伊細あり、此方より一歩指しは之れな候、倭友之用を解するこの一事で、一面御下へ

[illegible][illegible][illegible][illegible]

九月號

金の刑罰 山一 買物
 ▲疑獄の裡に妻の嘆き 岡野 不嫁
東西古今の長壽者
 新著 新井 誠夫
 國語學を疑はれて自殺した
新妻の相性
 美禰子 は貞操つた大娘
 徳町停留所北
 大阪市東區馬場町
豊國商會
 開城太平町
開城茶葉組合
職業
 專科特許品類
 買賣製造近男
 中無外山小具
 位與月未書與金形
 含有製品永久留愛
 無料進呈。特約店大募集
 說明見本

と

九月の株式は、
賣か買か 三十日間
配を豫知 乘高本
九月米相場 想 乘高本

これ天下の明鑑
ドンナ面倒な計算でも誰にも
ク無く出来る


石川内科醫院
院長 石川大祐
平塚 御町
電話六六三

九月の人の運氣と
三千日間鑑

速算器

八月に愛兒代選判斷
 生れたる愛兒の將來を定むるにこの判斷
 一以て女性性學等を示す此の判斷
 文として成功を望むひな 清水愛山
 夫婦の相生と幸福
 敬告中
 幸福の終身刑(小説)
 水谷水谷

實用ボクツト形上服
 特價金註文書は五
 代金換發料共五
 さん珠寶上手な
 びな珠簾に上
 骨が折れた夫に
 なる迄にはナ
 ではない此珠簾
 何だか比喩的
 抵禦の物は何
 抵禦の物は何
 抵禦の物は何



追

眞景累ヶ淵眞景累ヶ淵
花は紅き小雀花は紅き小雀
孔雀夫人孔雀夫人
香と性慾の科學研究
運命を危ふる徵夢
運命開拓の實例（續前篇）
美人親相美人親相
讀者文藝大發表會專集

博羽南嶺晴海三伯松
士太次山平水國野知村

ては少年にもかなわぬ發達以
大好青年や學校のみならず
の銀行街商店役所等々が盛
に奨励され從來の速給品中
最良なる簡便無類のもので
ある。

算計の何十倍も早く出来
る。一日の上で幾つも出来る
故に、珠算を人々の本器と使
用する。

出づる故に、珠算を人々の本器と使
用する。

出づる故に、珠算を人々の本器と使
用する。

[illegible]

候間舊信ノ御引立願上度此段廣告申上候也
大正十年九月七日

東洋拓殖株式會社裡里支店

支店長 矢野 康

[illegible][illegible]

◆コス◆

子

毛茶總批
深茶各種

△ 杉 廖 合 資 會 社

東京日本橋區新地町四丁目三番地

函送臺北 三三三

[illegible]

仁
 左
 藤
 病
 室

電話四〇九番

島田才之助著
最新刊
院長 佐藤小五郎
入院應需

我等の心
 偉人の青年時代
 蓮自選歌集
 吉井勇選集
 三三八〇
 二六四〇
 一六五〇
 三五二〇
 二四三〇

大陽屋號

（目錄卷序）

京

[illegible]

勝

通信
時必

新の知見に於ては、利を利するのみであり、損を損するのみである。相対論の眞理を説くべき世界に於ては、益と損失の士の間へは、絶好の境涯は必ずしも勝通信の武裝を備へたる大膽な胆れん事を切要とするのであります。

◇適月量圓(急所電報)壹ヶ月金拾圓也南納

◇特殊信託
(小資金!不難等にて定期賣買の出來難き人は御利用あれ)

吾が特殊信託が前記の投資法によつて如何に多數の人々を利してゐるかば既に定例を處てあつて廣なる美譽と成る方では、多大の信用を得し大發展大擴張事業に益に其成功の一環を占めて居く衆目の御相談に應じます

◆此賞五拾圓!短期間!

信託
 通前及陸
 名義託
 明記入
 報大東
 一紙式
 電話
 市
 大阪市北區新道交々點西入
 損失全部辨償一充分なる勝算あり
 大坂前野商店
 電話
 市
 大阪市北區新道交々點西入
 損失全部辨償一充分なる勝算あり
 大坂前野商店

版五非百解肺

肺病實驗治療問答

▲可憐なる肺病患者に先づ本書を一讀せよ蓋し再生の効を全し得ん乎若し此實験治療の功を全し得ん乎若し此實験治療の功を全し得ん乎若し此實験治療の功を全し得ん乎

疑はる讀者の爲に同社會救済の爲に救せん爲に同病三千名を限り代贈す

東宮殿下を奉迎す吉武源五

大正十一年一月一日

大正十一年一月一日

太平洋會議を前にして 後藤男
軍備問題と日支の提携 山脇
糖業官營及合同論評 河野信
朝鮮銀行の大陸發展一記
臺灣に大鉦を揮ふ 黒頭
南洋巡遊土產 淺野綱二
大

[illegible]

拓殖三人女橫田 雲洞
殖民地文藝募集
賞
發行番

バイン萬年筆

城本町二バイン商工株式會社

電話二六二五番
三〇七七番

殖銀の總會又延奉取信の合併爲めに進抄を

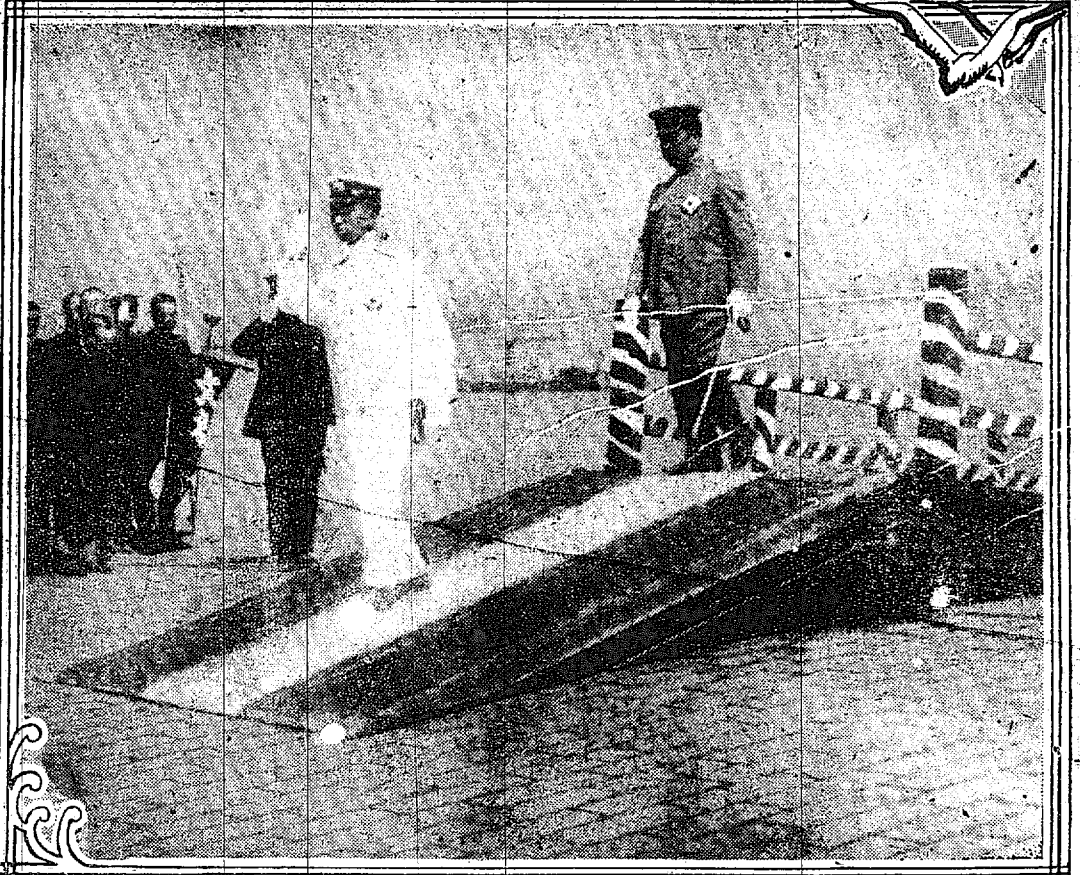
せす爲めに又々流亡せし出席社友を悉く逐て遂に兩者の間
 したる一部の者の間に根柢會を解散し滿鐵會社は奉天取引
 銀行を、實業の平張が行はれ、陸物産信託株式會社（資本

し百五十萬圓として合併せんとしたもので即ち同行の
するに當り奉取富の預金三十餘萬圓の資本を半減
萬圓を有する殖産銀行が現狀で既に破産し且奉取富を

五十萬圓
該交渉を續續と重ねて居たので、云ふので歓迎され多少の汗餘曲
十五萬圓
は本年の三四月の頃で奉天財界折はあつたが、尤も順調に進行し、好
は急不況の下底に達し如て來たのである。其内に奉天財

は京城地方との連絡は漸くに疎遠すべしと云ふ主張をない限りは殖銀の業主は皆賣から専断して腹に懸て居

此の狀態であり奉取國が煮け



自分の言ふことを聞かぬ
て事は精神異常で自宅療養中
古賀
神に憑かれたか
云ふのであつた

日比谷公園の御歸朝奉祝會

出府者は朝野の名士を始め
公民凡そ二萬人

箱根御用邸御成

閑院宮日光へ

陛下より御慰勞の御沙汰
天
閑院宮御成
閑院宮御成
閑院宮御成

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

海拔四千九百九十七尺の内霧在嶺
雲雷に翔りて肉の實在を疑ふ
特派員 田邊 掠鳥

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ



翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ
翠嵐脚下に湧き白雲飛ぶ

第八十一篇 小金井河川

小金井河川
小金井河川は、小金井市を流れる河川で、その源流は小金井市小金井の山にあり、その長さは約二キロメートルである。この河川は、小金井市の重要な水源であり、その水は小金井市の住民の生活に欠かせないものである。また、この河川は、小金井市の風景を美しくし、その環境を良く保つことに貢献している。



小金井河川
小金井河川は、小金井市を流れる河川で、その源流は小金井市小金井の山にあり、その長さは約二キロメートルである。この河川は、小金井市の重要な水源であり、その水は小金井市の住民の生活に欠かせないものである。また、この河川は、小金井市の風景を美しくし、その環境を良く保つことに貢献している。

Table with 4 columns: 将棋新手法 (Shogi New Method), 将棋新手法 (Shogi New Method), 将棋新手法 (Shogi New Method), 将棋新手法 (Shogi New Method). The table contains various shogi-related information and statistics.

田舎 (Country) advertisement featuring a large illustration of a person in traditional clothing and text describing the benefits of the product.

Various advertisements including 胃腸病 (Gastroenteritis), 婦人病 (Women's Diseases), and 補血養血 (Blood Tonic). Each ad includes detailed text about the symptoms and treatments.

クラト田有クラトせに

白粉 (White Powder) advertisement featuring a large illustration of a person in traditional clothing and text describing the benefits of the product.

味の素 (Ajinomoto) advertisement featuring a large illustration of a person in traditional clothing and text describing the benefits of the product.

